

# 江戸川大学保健だより

NO.008

11月号

江戸川大学 学生相談室 医務室 (C棟)

[soudan@edogawa-u.ac.jp](mailto:soudan@edogawa-u.ac.jp)

内線 477

## 新型インフルエンザ流行のおそれ

11月に入り、ずいぶん冷え込む季節となりました。寒くなると、風邪だけでなくインフルエンザの流行も気になります。インフルエンザは冬だけに限った病気ではありませんが、これからの季節には流行しやすくなります。

2004年～2005年にかけて、日本でも鳥インフルエンザが発生しました。鳥インフルエンザから人への感染はまれであり、鳥インフルエンザにかかった鳥に触ったりしなければ感染の危険性はないと言われています。しかし、感染経路で突然変異を起こし、新しいインフルエンザウィルスが登場する可能性があります。新型インフルエンザが発生したときの被害想定は困難ですが、国民4人に1人が感染し、最大64万人が死亡するであろうと厚生省は予測しています。社会全体でも薬品不足の事態となったり、日常生活がマヒするであろうともいわれています。



## インフルエンザ対策について

風邪との区別が困難ですが、インフルエンザの症状は、**38～40度の発熱**  
**頭痛、関節痛、筋肉痛など全身症状** **急な高熱で1週間程度続く** **感染力が強い**  
ことだとされています。また、風邪はウィルスが‘手から手へ’移る‘**接触感染**’ですが、インフルエンザは‘**咳やくしゃみ**’で移る‘**飛沫感染**’のため、広がりやすい感染症です。そのため、**咳エチケット(咳やくしゃみをするときは口と鼻を手で覆い、マスクをする)**を徹底しましょう。

インフルエンザには**予防接種**が有効とされており、毎年ワクチンが作られています。ワクチン接種により**100%予防**できるわけではありませんが、**症状の重症化を防ぐ**ことができます。また、ワクチンの効果が出るまで**2週間ほど**かかります。流行が始まってからワクチン接種をしても**効果**がありません。費用は自治体にもよりますが、**早めに医療機関へ連絡**をして**予防接種**を受けましょう。



健康についてのご質問や、保健だよりに関するご意見などがありましたら C棟医務室までご相談ください。また、メールでのご質問にもお答えします。

看護師 佐藤 文恵 (木曜日 9:00～17:00)

[fumie@edogawa-u.ac.jp](mailto:fumie@edogawa-u.ac.jp)